



小平邦彦さん

名誉区民

故小平邦彦さん生誕100年記念

講演会・パネル展示

新宿区名誉区民で世界的な数学者として知られる故小平邦彦さん(1915年～1997年)は1954年、数学者にとって最高の栄誉であるフィールズ賞を受賞しました。今年、小平さんの生誕100年にあたります。

小平さんの数々の偉業を顕彰するため、記念講演会が開催されます。生涯を紹介するパネル展示もあります。当日直接、会場へおいでください。

地域の歴史や文化を未来につなげよう 新たな文化財10件が決定

新宿区文化財保護条例に基づき、区内の文化財の保護と活用を推進しています。新たに決定した指定文化財3件、登録文化財7件を紹介します。【問合せ】文化観光課文化資源係(本庁舎1階)☎(5273)3563・FAX(3209)1500へ。

指定文化財 (3件)

区内の文化財のうち特に重要なものを、指定文化財として保護・活用しています。今回の指定で、区の指定文化財は115件となります。

有形文化財(建造物)

亮朝院 本堂

亮朝院 七面堂

西早稲田3-16-24

本堂は嘉永3年(1850年)、七面堂は天保5年(1834年)の建築で、区内では数少ない江戸時代の建物です。亮朝院は江戸初期に身延山久遠寺から七面明神像を授かり、戸山に七面堂を建立して祀ったのが起源と伝えられています。



亮朝院本堂



亮朝院七面堂

有形民俗文化財

中井御霊神社の狛犬

中井2-29-16

神社の拝殿前にある一対の狛犬で、現存する区内最古の狛犬です。正徳5年(1715年)に下落合村の氏子により奉納されました。



登録文化財 (7件)

区内の文化財のうち保存する必要があるものを、登録文化財として保護・活用しています。今回の登録で、区の登録文化財は48件となります。

有形文化財(工芸品)

西應寺の梵鐘

須賀町11-4

正徳2年(1712年)に鑄造された銅造の梵鐘(釣鐘)で、江戸前期の鑄物師・小沼長政の作品です。銘文からは、この鐘が造られた経緯や670名に及ぶ寄進者の名前が分かります。



有形民俗文化財

全龍寺の庚申塔

大久保1-16-15

寺の門前に立つ庚申塔で、寛文12年(1672年)の建立です。阿弥陀如来像の向かって右側には庚申の文字が、台座には庚申塔のシンボルである三猿が刻まれています。



庚申(こうしん)塔…江戸時代に流行った、60日に1度の庚申(かのえさる)の日に徹夜して、長寿を祈願する民間信仰に基づくもの。この祈願を3年続けた記念に建立される石碑

有形文化財(歴史資料)

木造 七面明神半跏像・宮殿

木造 妙見菩薩立像・宮殿

木造 諏訪大明神坐像・宮殿

西早稲田3-16-24、亮朝院内

亮朝院七面堂の本尊である七面明神像(江戸前期～中期)と、後に七面堂に安置された妙見菩薩像(嘉永5年(1852年)ごろ)、諏訪大明神像(文政11年(1828年)ごろ)の3体の彫刻で、それぞれ宮殿(くうでん)に収められています。像は美しい彩色が残り、宮殿は建造物として優れたものです。江戸時代の人々の信仰の様子が分かる文化財です(通常は非公開)。

有形民俗文化財

慈雲山観音寺の

庚申塔

西早稲田1-7-1

寺の境内に立つ庚申塔で、寛文4年(1664年)の建立です。地藏菩薩像の向かって右側に、庚申の文字が刻まれています。



有形民俗文化財

下落合2丁目の庚申塔

下落合2-8-2

氷川神社前の路傍に立つ庚申塔で、文化13年(1816年)の建立です。側面に「左ぞうしがや道」「右ば下道」と刻まれており、道しるべでもあったことが分かります。

